

科目 No.	10001		
科目名	はじめての農業経済学（農業経済基礎）		
科目区分	リメディアル科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	2 時間
担当講師	窪田さと子（帯広畜産大学・准教授・博士（畜産衛生学））		

科目概要

本プログラム受講に先立ち、前提となる農業経済学の考え方および基礎的知識の修得を目的とする。はじめて農業経済学に触れる受講者を想定している。

到達目標

農業経済学の基礎的知識をもとに、農業をとりまく社会経済的課題を理解し、論理的に考える力を身に付けること。本プログラムの前提となる知識を得ること。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、特に指定しない。

評価の方法と基準

リメディアル科目につき、修了要件の履修時間として認定しません。

教科書・参考図書

教科書：Moodle に掲載した授業資料を使用する。

備考

質問は Moodle を通じて行うこと。なお、受講者全体に共有すべき質問と回答は受講者に限定して公開することがある。

科目 No.	10002		
科目名	はじめての農業経営学（農業経営基礎）		
科目区分	リメディアル科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	2 時間
担当講師	三宅俊輔（帯広畜産大学・准教授・博士（農学））		

科目概要

本プログラム受講に先立ち、前提となる農業経営学の考え方および基礎的知識の修得を目的とする。はじめて農業経営学に触れる受講者を想定している。

到達目標

農業経営学の基礎的知識をもとに、農業をとりまく社会経済的課題を与件として理解し、農業経営体の合理的行動について論理的に考える力を身に付けること。本プログラムの前提となる知識を得ること。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、特に指定しない。

評価の方法と基準

リメディアル科目につき、修了要件の履修時間として認定しません。

教科書・参考図書

教科書：Moodle に掲載した授業資料を使用する。

備考

質問は Moodle を通じて行うこと。なお、受講者全体に共有すべき質問と回答は受講者に限定して公開することがある。

科目 No.	10003		
科目名	はじめての農業会計（農業会計基礎）		
科目区分	リメディアル科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	2 時間
担当講師	河野洋一（帯広畜産大学・准教授・博士（バイオビジネス学））		

科目概要

本プログラム受講に先立ち、前提となる農業会計学の考え方および基礎的知識の修得を目的とする。はじめて農業会計に触れる受講者を想定している。

到達目標

農業会計学の基礎的知識をもとに、農業経営体の持続的経営環境を自ら認識、改善していくための論理的思考を身に付けること。本プログラムの前提となる知識を得ること。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、特に指定しない。

評価の方法と基準

リメディアル科目につき、修了要件の履修時間として認定しません。

教科書・参考図書

教科書：Moodle に掲載した授業資料を使用する。

備考

質問は Moodle を通じて行うこと。なお、受講者全体に共有すべき質問と回答は受講者に限定して公開することがある。

科目 No.	20001		
科目名	基礎をかためる農業会計		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	6時間（2時間×3回）
担当講師	竹川会計事務所		

科目概要

この科目では、初めて本格的な簿記・会計に関する学習する受講生を対象に、本プログラムの財務・会計関連科目の学習に必要な基礎的な知識を得ることを目的としています。

具体的には、簿記のしくみ、勘定科目などについて学び、総勘定元帳から貸借対照表、損益計算書、キャッシュフローなど財務諸表が作成される過程について学びます。また、農業会計特有の処理の方法について学習します。

「農業簿記・農業税務Ⅰ（21003）」「農業経営診断・改善の進め方Ⅰ（21004）」「農畜ファイナンス（40101）」「儲ける農業経営（40102）」の受講予定者で農業簿記・会計の初学者は本科目の受講をお勧めします。

到達目標

勘定科目の仕組みや内容を理解し、財務諸表の内容を読めるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、基礎知識の前提は想定しておりませんが、簿記の仕組みについて把握しておくことと効果的な受講となります。初学者は「はじめての農業会計（10003）」をあらかじめ受講しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途配布を行う。

参考図書：森 剛一『2023年版 勘定科目別農業簿記マニュアル』（全国農業会議所）

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	20002		
科目名	農業税務集中講義		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	09 時～12 時	履修時間数	3 時間 (3 時間×1 回)
担当講師	庄司智宏 (帯広信用金庫・アグリビジネス推進室長・上級農業経営アドバイザー)		

科目概要

農業に特有の税務上の問題について、実践的な理解とその解決方法に関する技術を解説します。

※農業経営アドバイザー試験受験者を対象として実施する。

到達目標

一般税務と農業税務の違い、特に農業における特例および特殊事例について理解を深めること。具体的な農業税務の問題に対処できるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

事前に「農業簿記・農業税務 I (21003)」を受講してください (実践力強化コースを除く)。また、初学者は「はじめての農業会計 (10003)」「基礎をかためる農業会計 (20001)」を受講しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

授業中に取り組む課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途配布を行う。

参考図書：森 剛一『2023 年版 勘定科目別農業簿記マニュアル』(全国農業会議所)

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	21003		
科目名	農業簿記・農業税務 I		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	4 時間 (予定)
担当講師	森剛一 (森税務会計事務所・税理士)		

科目概要

農業経営の起点は農業簿記による経営状況のデータ化にあります。適切な農業簿記・農業税務を基礎として納税，資金調達（ファイナンス），経営診断による経営改善につながります。本科目では簿記 3 級以上の知識をもとに，農業経営に特有の税務会計に関する基礎的知識を学ぶことを目的としています。

日本政策金融公庫認定の農業経営アドバイザー（一般）資格取得のための必修科目としております。

到達目標

一般的な簿記会計の基礎知識を超えた農業経営特有の財務，会計問題に対応するための基礎知識を得て，農業経営アドバイザー（一般）資格相当の知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

農業簿記に関する基礎的な用語を理解しておくことが望ましい。また，初学者は「はじめての農業会計（10003）」「基礎をかためる農業会計（20001）」を受講しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

動画視聴及び理解度テストの受験により履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：農業経営アドバイザーの動画視聴ページより資料がダウンロードできます。

参考図書：『農業経理士教科書 税務編（第 9 版）』大原出版株式会社

『農業簿記検定 教科書 2 級』大原出版株式会社

備考

授業動画は公開期間があるため別途案内します。

科目 No.	21004		
科目名	農業経営診断・改善の進め方 I		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	4 時間（予定）
担当講師	吉川順子（吉川順子事務所・税理士・中小企業診断士）		

科目概要

財務諸表の重要な活用方法の一つに、各種の財務指標を用いた経営診断の技術があります。積極的な経営改善を進める上で、財務指標を活用して経営を多角的にとらえ、短期から長期にわたる経営戦略を考えるためにも的確な経営診断の方法を知ることは重要です。本科目では、基礎的な経営診断の知識をもとに、農業経営特有の財務構造等を考慮した経営診断の在り方について学ぶことを目的としています。

日本政策金融公庫認定の農業経営アドバイザー（一般）資格取得のための必修科目としております。

到達目標

一般企業における経営診断の基礎知識とは異なった農業経営特有の財務会計に基づく経営診断についての基礎知識を得て、農業経営アドバイザー（一般）資格相当の知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、基礎知識の前提は想定しておりませんが、簿記の仕組みについて把握しておくこと効果的な受講となります。初学者は「はじめての農業会計（10003）」「基礎をかためる農業会計（20001）」をあらかじめ受講しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

動画視聴及び理解度テストの受験により履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：農業経営アドバイザーの動画視聴ページより資料がダウンロードできます。

参考図書：『農業経理士教科書 【経営管理編】（第3版）』大原出版株式会社

森 剛一『2023年版 勘定科目別農業簿記マニュアル』（全国農業会議所）

備考 授業動画は公開期間があるため別途案内します。

科目 No.	21005		
科目名	農業マーケティング I		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	1.5 時間 (予定)
担当講師	松田恭子 (株式会社結アソシエイト・代表取締役)		

科目概要

農業経営における収益性の改善を図る上で、いかに付加価値を高めるか、そのためには、何を、どのようなルートで、どのような売り方をすべきか、ここに農業マーケティングの重要性があります。この視点は六次産業化や新規作物の導入だけでなく、既存の主産地形成を果たした作物においても、絶えず考えていくことが重要です。本科目では、農産物・食品のマーケティングについての基礎知識について学ぶことを目的としています。

日本政策金融公庫認定の農業経営アドバイザー（一般）資格取得のための必修科目としています。

到達目標

農産物・食品のマーケティングについて、地域資源の視点、六次産業化の視点から商品開発、販路開拓等の基礎知識を得る。農業経営アドバイザー（一般）資格相当の知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者あるいはマーケティングの入門程度を既習の受講生を想定していますが、初学者の場合は事前にマーケティング用語の定義を理解しておくことをお勧めします。

参考 web サイト

日本政策金融公庫「『誰に?』『何を?』『どのように?』事業内容を整理しよう！」

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/sougyou/column/202212/index.html>

日本政策金融公庫「6次産業化・農商工連携支援」

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/rokuji/index.html>

評価の方法と基準

動画視聴及び理解度テストの受験により履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：農業経営アドバイザーの動画視聴ページより資料がダウンロードできます。

参考図書：松田 恭子『事例でわかる！食と農のマーケティング入門』（株式会社きんざい）

備考

授業動画は公開期間があるため別途案内します。

科目 No.	21006		
科目名	労務管理 I		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	4 時間（予定）
担当講師	鈴木泰子（社会保険労務士法人リライアンス・社会保険労務士）		

科目概要

家族労働のみによる農業経営が限界となりつつある十勝地域において、雇用労働を確保し、適切な雇用管理を通じて良好な雇用環境を作ることは重要な課題になりつつあります。本科目では基礎的な労務管理の知識をもとに、農業経営に特有の労務管理に関する制度とその実践について学ぶことを目的としています。

日本政策金融公庫認定の農業経営アドバイザー（一般）資格取得のための必修科目としています。

到達目標

一般企業における労務管理の基礎知識とは異なった農業経営特有の労働法規・制度についての基礎知識を得て、農業経営アドバイザー（一般）資格相当の知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を想定しておりますが、近年の労務管理に関する話題のポイントとして以下の資料を参照されることをお勧めします。

厚生労働省「働き方改革関連法の主な内容や支援策について」

<https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/content/contents/001508670.pdf>

評価の方法と基準

動画視聴及び理解度テストの受験により履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：農業経営アドバイザーの動画視聴ページより資料がダウンロードできます。

備考

授業動画は公開期間があるため別途案内します。

科目 No.	21007		
科目名	農地制度・農地所有適格法人 I		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	1.5 時間
担当講師	堀口浩（岐阜県農業会議）		

科目概要

農地は生産手段としての資本としての側面がある一方で、資産としての役割があり、その取得・所有・処分については、一般的な資本財とは違い、様々な法規制の対象となっています。そのため、農地の取得や処分は農業経営の経営戦略を考える上で、または事業承継を考える上で重要な要素です。本科目では農地法および農地の所有・売買・貸借等に関する関連制度について学ぶことを目的としています。

日本政策金融公庫認定の農業経営アドバイザー（一般）資格取得のための必修科目としています。

到達目標

規模拡大や事業承継において重要とされる農地の所有・売買・貸借等に関する基礎知識について農業経営アドバイザー（一般）資格相当の知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

農林水産省 Web サイトに公開されている農地制度に関する情報を事前に確認しておくことをお勧めします。農林水産省 Web サイト：<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/>

評価の方法と基準

動画視聴及び理解度テストの受験により履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：農業経営アドバイザーの動画視聴ページより資料がダウンロードできます。

参考図書：『農業委員会研修テキストシリーズ2 農地法（第6版）』全国農業会議所

『農業委員会研修テキストシリーズ3 農地関連法制度（第4版）』全国農業会議所

備考

授業動画は公開期間があるため別途案内します。

科目 No.	21008		
科目名	農業・農村構造と農業政策 I		
科目区分	実務基礎科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	オンデマンド		
開講時間	—	履修時間数	2 時間
担当講師	大泉一貫（宮城大学・名誉教授・農学博士）		

科目概要

農業経営者が将来の経営戦略を考えるうえで、国内外の視点から農業政策の潮流をふまえて、わが国の農業・農村構造の将来像に対する明確なビジョンをもつことは重要です。そこで、本科目では、わが国の農業・農村構造の特質を学び、これに基づく農業政策の在り方について学ぶことを通じて、自らの農業経営が採るべき将来の経営戦略を立案できるような視点を養うことを目的としています。

日本政策金融公庫認定の農業経営アドバイザー（一般）資格取得のための必修科目としています。

到達目標

わが国の農業・農村構造とこれに基づく農業生産構造とその対応としての農業政策に関する基礎知識について農業経営アドバイザー（一般）資格相当の知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

農林水産省『食料・農業・農村白書』に取り上げられている農業政策の課題を理解しているレベルの受講者を想定していることから、農林水産省『食料・農業・農村白書』（https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r5/index.html）を事前に確認しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

動画視聴及び理解度テストの受験により履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：農業経営アドバイザーの動画視聴ページより資料がダウンロードできます。

備考 授業動画は公開期間があるため別途案内します。

科目 No.	31101		
科目名	プレゼンテーション演習		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	4時間（2時間×2回）
担当講師	岩本博幸（帯広畜産大学・教授・博士（農学））		

科目概要

プレゼンテーションで必要とされる論理的整理、発表技術の基礎を学び、実際に演習形式での発表によって表現能力、表現手法を習得する。

到達目標

農業および農業を取り巻く環境に対する現状認識、理想とすべき農業経営とのギャップ、ギャップを埋めるために必要な取り組みについて、論理的かつ簡潔に整理し、他者に伝達するプレゼンテーション手法の基礎知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

事前にプレゼンテーション資料を作成し、提出してください（締め切り厳守）。

評価の方法と基準

報告・質疑応答の内容の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

参考図書：ガー・レイノルズ『プレゼンテーション Zen（第3版）』丸善出版

備考

- ・事前に届け出のある当日欠席の場合は、後日、zoomによる補講を実施します。
- ・補講にてプレゼンテーションを行った場合は、欠席回の録画も視聴してください。

科目 No.	31102		
科目名	農畜産経営を学ぶことの意義とはなにか？		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	2時間
担当講師	岩本博幸（帯広畜産大学・教授・博士（農学））		

科目概要

農業者は農業生産技術に精通した技術者としての側面、農業経営体を運営していく組織経営者としての側面がありますが、さらに自ら調達した資本を運用して利潤を求める資本家としての側面があります。本科目では、農業経営の課題は多岐にわたりますが、現代社会において農畜産業を経営することの意味について、経済学・経営学の視点から学び、経営体が目指すべき多様な将来像について理解を深めることを目的としています。

到達目標

経済学・経営学の視点から農畜産業経営の意義について理解すること。多様な将来像に向けて必要とされる学びについて考え、本プログラムに主体的な意識をもって学びに参加できるようにすることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	31103		
科目名	農業経営特別セミナー		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	4時間（2時間×2回）
担当講師	岩本博幸（帯広畜産大学・教授・博士（農学））ほか		

科目概要

農業経営の課題を考えるときに、構造的な課題は過去の歴史、経緯からの理解が欠かせません。これは現在、良好な状態にある組織においても同様です。そのような視点から、本科目では農業および農業関連企業において実績をもつ組織経営者から、経験に裏打ちされた実践的な組織マネジメントの課題解決方法を学ぶことで、自らの農業経営、組織経営の課題解決のヒントを得ることを目的としています。

到達目標

ゲストスピーカーとのディスカッションを通じて自らの組織経営における課題解決のヒントを得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

ゲストスピーカーがアナウンスされた際に紹介される資料について事前学習をすることをお勧めします。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	31104		
科目名	経営改善フィールドワーク		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	必修科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	土日祝日の午後	履修時間数	9時間（3時間×3回） ※移動時間は含めない
担当講師	岩本博幸（帯広畜産大学・教授・博士（農学））ほか帯広畜産大学教員2名 十勝管内の畑作・酪農・肉牛の経営者		

科目概要

畑作、酪農、肉牛経営において優れた取り組みを実施している農業経営を訪問し、現地での取り組み内容の視察を行ったのちに、経営者とのディスカッションを通じて経営課題に対する解決方法について知見を得ることを目的としています。

到達目標

実際の農業経営を視察、経営者とのディスカッションから現場における課題解決の基礎知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

視察先ごとにテーマをあらかじめ設定します。特に具体的には各視察先において法人経営を中心とした組織マネジメント、人材育成に関する課題、六次産業化の取り組みについて共通して論点としますので、テーマに沿った事前学習を各自おこなってください。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	30005		
科目名	SDGs 農畜産経営		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	18 時～20 時	履修時間数	2 時間 (2 時間×1 回)
担当講師	岩本博幸 (帯広畜産大学・教授・博士 (農学))		

科目概要

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) が 2015 年の国連総会で採択されて以来、企業活動の様々な場面で SDGs が考慮されるようになってきました。SDGs の実践において重要なのは、社会経済活動を持続的なものに改善していくことです。本科目では SDGs の定義とその目的について、歴史的背景から紐解き、SDGs に配慮した農畜産経営の在り方について解説します。また、SDGs を実践する経営となるために求められる視点と具体的改善の方法について学ぶことを目的としています。

到達目標

SDGs について歴史的背景を踏まえた定義とその目的について理解し、本来的な SDGs の視点から農畜産経営を見直して持続性ある経営について検討できることを目標にしています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。SDGs について初めてその内容を学ぶ受講生は、国連広報センターによる SDGs の解説 (下記、参考資料) を一読しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

参考資料：国連広報センター『SDGs とは？17 の目標ごとの説明、事実と数字』

https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31737/

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	30006		
科目名	アニマルウェルフェアと持続的な農畜産業経営		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	4時間（2時間×2回）
担当講師	岩本博幸（帯広畜産大学・教授・博士（農学）） 瀬尾哲也（帯広畜産大学・准教授・博士（農学））		

科目概要

近年、欧米を中心に普及しつつあるアニマルウェルフェアは、わが国においてもインバウンド需要、畜産物の輸出などをきっかけとして議論になりつつあります。また、アニマルウェルフェアに資する経営は畜産にとどまらず農業全般にその効果が波及しうると考えられます。そこで、本科目では、アニマルウェルフェアの基礎知識とその社会経済的な影響について解説します。

到達目標

アニマルウェルフェアの基礎的な理解を得るとともに、農畜産業経営においてアニマルウェルフェアの視点がどのような効果をもたらすのかについて経営・経済学的に理解することを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

参考図書：佐藤衆介『アニマルウェルフェア 動物の幸せについての科学と倫理』
（東京大学出版会）

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	30007		
科目名	リスクマネジメント論		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	6時間（2時間×3回）
担当講師	柳瀬典由（慶應義塾大学・教授・博士（商学）） 浦田祥範（浦田コンサルティングオフィス・代表）		

科目概要

農畜産業は気象というリスクに常にさらされている産業であることは周知の通りですが、近年では疫病や戦争による資材調達のリスク、販売のリスクなど多様化している現状があります。本科目では、そもそもリスクとは何か？という一般的なリスクの考え方、リスクマネジメントに対する基礎知識をもとに、農畜産経営における特有のリスクに対するリスクマネジメントの考え方を学ぶことを目的としています。

到達目標

リスクに関する基礎的知識を得て、リスクマネジメントに関する基本的な発想とその手法について理解し、農畜産経営における特有のリスクにも対応できるリスクマネジメントの考え方を実践的に発想できるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

参考図書：柳瀬典由ほか『リスクマネジメント（【ベーシック+】）』（中央経済社）

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	30008		
科目名	企業戦略論		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	17時～20時	履修時間数	6時間（3時間×2回）
担当講師	玉井健一（小樽商科大学・教授・博士（経済学））		

科目概要

事業戦略に焦点をあて、ケース分析から農畜産企業経営の戦略立案を実践的に習得することを目的としています。

到達目標

ケース分析の分析手法を習得し、企業戦略を読み解く技術を得る。農畜産経営における企業戦略のあり方を学び、自らの経営における戦略立案のための知識を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していませんが、「農畜ファイナンス（40101）」「リスクマネジメント論（30007）」を事前に受講することでより効果的な学習が期待できます。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	30009		
科目名	GAP で取り組む持続可能な農業経営		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	17 時～20 時	履修時間数	3 時間
担当講師	田上 隆多（一般社団法人日本生産者 GAP 協会 事務局長）		

科目概要

GAP (Good Agricultural Practice) は、持続可能な農業を営むための適切な実践のことで、法令を遵守し、生産性向上と環境負荷低減を両立し、生産物の安全性を確保し、働く人の権利・健康を保護しながら農業経営をすることが重要です。本科目では、持続可能な農業経営に寄与する取り組みとして、GAP の意義、その展開について解説することを目的としています。

到達目標

GAP についての知識を深め、その意義を理解した上で GAP マネジメントシステム構築に関する基礎的知識を習得する。経営戦略の中で GAP マネジメントシステムの活用方法について構想する能力を養うことを目標にしています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

参考図書：

『日本 GAP 規範 第 2 版-環境と人にやさしい農業の実践-』（幸書房）

『GH 農場評価ガイドブック グリーンハーベスター農場評価基準 Ver.2.0』（幸書房）

『実践ガイド 生態学的土づくり』（一般社団法人日本生産者 GAP 協会）

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	30010		
科目名	導入できる！農場 HACCP		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面又はオンライン		
開講時間	09 時～17 時 30 分	履修時間数	15 時間（7.5 時間×2 回）
担当講師	藤倉 雄司（帯広畜産大学・博士（農学））		

科目概要

畜産物の安全性向上のためには、個々の畜産農場における衛生管理が重要です。農林水産省では畜産農場に危害要因分析・必須管理点(HACCP)の考え方を取り入れた飼養衛生管理を推進しています。本科目では、生産工程管理手法である HACCP の基礎的概念を学び、農場 HACCP 等を活用して農畜産物の安全性に配慮した経営管理を改善する方法について解説することを目的としています。また、畜産物のみならず、農作物の生産現場における HACCP に基づく危害要因分析を実施しリスクを管理する手法を学び、持続的な食料生産を実践する方法についても解説します。

到達目標

HACCP の基本的概念および HACCP 構築の手順、方法について理解し、農場 HACCP 等による経営管理、改善に関する知見を得ることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。

評価の方法と基準

理解度テストの実施及び授業後課題の評価をもって履修完了と判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

原則対面又はオンラインでの受講とし、受講者には修了時に HACCP 構築修了証を別途授与します。

やむを得ず欠席する場合は、オンデマンドによる補講を実施しますが、HACCP 構築修了証の授与は行いません。

科目 No.	30011		
科目名	AI と DX セミナー		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	平日午後で調整中	履修時間数	3 時間
担当講師	河添 裕介 (NTT 東日本)		

科目概要

農業者の経験に大きく左右される農業生産技術において、AI の活用が本格化しようとしています。DX により農業生産技術のみならず、農業経営においても AI の活用により、経営改善の可能性が広がりつつあります。本科目では、AI に関する基礎的理解を深め、農畜産業における AI の応用と AI を活かせる DX 環境の構築に関する基礎的知識を習得することを目的としています。

到達目標

AI の基礎概念について理解すること、農畜産業における AI の活用方法について検討できる知識をもつこと、DX 環境を構築するための要件について理解できることを目標とします。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。予習用オンデマンド教材を視聴して AI および DX の基礎を理解しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了と判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

予習用のオンデマンド教材を事前配布します。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	30012		
科目名	ビジネスシーンでの RESAS の活用		
科目区分	実務実践科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	14 時～16 時（予定）	履修時間数	2 時間
担当講師	田中 康弘（経済産業省北海道経済局）		

科目概要

地域経済分析システム（RESAS）は、地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供している地域統計資料の分析プラットフォームです。RESAS を地域経済の現状把握、分析、将来予測などに活用し、マーケティングや経営戦略に活用することができます。本科目では、RESAS の活用方法を学び、地域経済から農畜産経営の目指すべき方向性を検討する技術を学ぶことを目的としています。

到達目標

RESAS の利用方法を習得し、RESAS の活用を通じて地域経済の産業構造の特徴を把握、分析結果から将来の地域経済像を予測し、自らの経営戦略に活用できるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了と判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40101		
科目名	農畜ファイナンス（資金調達）		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	8時間（2時間×4回）
担当講師	庄司 智宏（帯広信用金庫・アグリビジネス推進室長・上級農業経営アドバイザー） 畠山 尚史（株式会社十牛・代表取締役・博士（農学））		

科目概要

規模拡大や技術体系の改善、新規作物の導入など様々な経営改善や発展を目指すときに重要なのが、資金をいかに調達するののかという課題です。その際に、採算性が見込めれば資金は調達できるのでしょうか？まずは、みずからの経営の状況を財務諸表によって把握、分析にもとづいて事業戦略を考え、これに対応した資金調達、事業実施、返済と利潤の獲得といった事業の計画性が重要です。本科目では財務指標に基づく経営の健全性の観点から資金調達の方法および適切な資金計画に基づく経営戦略のあり方について学習することを目的としています。

到達目標

財務指標について基礎的理解を得た上で、SWOT分析などを活用して自らの経営における将来性を客観的に検討する力をつけること、多様化する資金調達を理解し、適切な経営計画に資する活用方法が検討できるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

貸借対照表、損益計算書、キャッシュフローについて理解していることを前提とする。初学の者は事前に「基礎からかためる農業会計（20001）」の受講をお勧めします。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40102		
科目名	儲ける農業経営（経営管理）		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	4時間（2時間×2回）
担当講師	竹川博之（税理士法人竹川会計事務所・代表社員・公認会計士，税理士）		

科目概要

本科目では、決算書の仕組みを理解し、畑作、酪農、肉牛経営といった営農類型別の利益管理手法を学び、農協、金融機関との対話力の醸成が可能となる知識を学ぶことを目的としています。

到達目標

決算書の仕組みについて基礎的知識を習得する。利益管理の考え方を理解し、活用する実践力を養うことを目標としています。

受講に必要な基礎知識

貸借対照表、損益計算書、キャッシュフローについて理解していることを前提とする。初学の者は事前に「基礎からかためる農業会計（20001）」「農畜ファイナンス（資金調達）（40101）」の受講をお勧めします。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40003		
科目名	農業経営戦略・組織論		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	6時間（2時間×3回）
担当講師	河野洋一（帯広畜産大学・准教授・博士（バイオビジネス））		

科目概要

農業経営の営農類型、規模、雇用の有無等、多様な経営組織が存在しうる中で、農業経営戦略および組織論のあり方を、その基礎的知識から発展させ、意思決定の観点から解説します。

特に、本授業では、受講者の所属する組織の正確な認識と特徴の把握をもとに、各受講者の組織を事例に、経営戦略の考え方や組織開発（改善）の方向性について、グループワークおよび受講者間のディスカッションによって、十勝地域を中心とした農業における経営戦略・組織のあり方を学びます。

到達目標

組織の特徴を正確に把握するための手法について理解し、組織開発（改善）のあり方を示すことができるようになること、農政および十勝農業の状況、世界情勢の影響等を踏まえたこれからの農業および農業関連組織における経営戦略を評価できるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

所属する組織の実態について、組織図や上司・部下をはじめ内外のステークホルダーとの関係性、経営理念、事業内容などの経営に係わる各種情報について、また所属する組織に関する社会・経済情勢、ならびに同業他社の状況等を理解しておくことをお勧めします。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40004		
科目名	マーケティング事例分析		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	09 時～16 時	履修時間数	6 時間
担当講師	田守 順（経営コンサルタント）		

科目概要

農業経営において収益を高める方法の一環となり得る、農業マーケティングへ応用・実践できる各種マーケティング理論の概要説明・応用手法・事例等を解説し、グループディスカッションを通して深掘りしていきます。

到達目標

実践に応用できるマーケティング理論と事例を学び、農業経営におけるマーケティング戦略のスキルを身につけることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

事例分析が中心となるため、マーケティングの基礎知識が求められます。初学者は「農業マーケティング I（21005）」をあらかじめ受講することをお勧めします。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書及び資料

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40005		
科目名	実践！農業の事業承継（ケーススタディ）		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	選択科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	6時間（2時間×3回）
担当講師	竹川博之（税理士法人竹川会計事務所・代表社員・公認会計士，税理士）		

科目概要

親子間承継を中心として、農業経営における事業承継について事例を紹介しながら、具体的な留意点、承継の進め方など実践的に解説します。特に財産移転による相続税、贈与税、所得税等の計算の仕組みを学び、節税を考慮しながら法人化、個人成りについても検討し、事業承継における多様な課題を学ぶことを目的としています。

到達目標

事業承継の基本的知識を習得すること、農業経営における特有の承継上の課題を理解しつつ、具体的な承継手順、税制上の手続きについて理解することを目標としています。

受講に必要な基礎知識

初学者を対象としているため、前提となる基礎知識は特に想定していません。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書及び資料

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40106		
科目名	経営改善に役立つ労務管理		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	4時間（2時間×2回）
担当講師	外崎裕康（外崎労務事務所・代表・特定社会保険労務士，行政書士）		

科目概要

家族労働のみによる農業経営が限界となりつつある十勝地域において、雇用労働を確保し、適切な雇用管理を通じて良好な雇用環境を作ることは重要な課題になりつつあります。本科目では畑作、酪農等の農業に特有の労務管理問題について、具体的事例を紹介しつつ、その労務管理上の重点項目とその対処について実践的な方策を解説することを目的としています。

到達目標

農業における労務管理上の特徴的な課題について知識を得る。労務管理上の課題について、具体的な対応策を検討することができる。

受講に必要な基礎知識

雇用契約書および労働条件通知書の内容について理解できることが望ましい。初学者は実務基礎科目「労務管理Ⅰ」をあらかじめ受講することをお勧めする。

評価の方法と基準

質疑応答および授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40107		
科目名	ケーススタディに学ぶ農地制度		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時~20時	履修時間数	2時間
担当講師	佐藤匡紀（一般社団法人北海道農業会議・農政・業務担当部長）		

科目概要

農地は生産手段としての資本としての側面がある一方で、資産としての役割があり、その取得・所有・処分については、一般的な資本財とは違い、様々な法規制の対象となっています。そのため、農地の取得や処分は農業経営の経営戦略を考える上で、または事業承継を考える上で重要な要素です。本科目では農地法の基礎的知識を解説するとともに、売買、貸借等の農地保有に関する制度をケーススタディにもとづき解説することを目的としています。

到達目標

農地法および農地保有・貸借に関する諸制度の適切な理解のもとで規模拡大、事業承継等の経営判断を検討することができるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

農林水産省 Web サイトに公開されている農地制度に関する情報を事前に確認しておくことをお勧めします。URL：<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/>

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

参考資料：農林水産省農地制度 Web サイト：<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/>

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。

科目 No.	40008		
科目名	農業経営に活かす農業政策		
科目区分	実務応用科目		
実践力基礎コース	選択科目	実践力強化コース	必修科目
実施区分	対面		
開講時間	18時～20時	履修時間数	2時間
担当講師	農林水産省北海道農政事務所		

科目概要

農業経営者が将来の経営戦略を考えるうえで、国内外の視点から農業政策の潮流をふまえて、わが国の農業・農村構造の将来像に対する明確なビジョンをもつことは重要です。本科目では、国が推進する食料・農業・農村政策について解説し、国がめざす農業の姿と、これを実現するための、各種補助事業等の施策について解説することを目的としています。

到達目標

農地法および農地保有・貸借に関する諸制度の適切な理解のもとで規模拡大、事業承継等の経営判断を検討することができるようになることを目標としています。

受講に必要な基礎知識

『食料・農業・農村白書』および「みどりの食料システム戦略」について事前に理解をしておくことが望ましい。

評価の方法と基準

授業後課題の評価をもって履修完了を判断します。

教科書・参考図書

教科書：講義に必要な資料は別途データにて配布を行います。

参考資料：農林水産省『食料・農業・農村白書』

(https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r5/index.html)

農林水産省『みどりの食料システム戦略』

(<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>)

備考

事前届け出のある当日欠席の場合は、後日、オンデマンドによる補講を実施します。